

医薬品副作用被害救済制度の研修（制度説明） に関するアンケート調査 集計結果

- I 令和6年度 出前講座 アンケート調査
- II 令和6年度 eラーニング講座 アンケート調査

令和7事業年度第2回救済業務委員会
(令和7年12月10日)

I 令和6年度 出前講座 アンケート調査

【調査目的】

医療現場における救済制度の認知率の把握、救済制度への意識調査、今後の講演活動の改善に向けた意見等の聴取、研修後の医療機関の意識や体制の変化などの把握を目的として実施

【調査対象】

P M D A 職員が医薬品副作用被害救済制度の「出前講座」を行った医療機関、研修受講者

【調査方法】

- ・研修受講者に対して研修実施直後にアンケート調査を行い、当日もしくは後日回収（当日調査）
- ・医療機関に対して研修実施後3ヶ月を目途に回答を依頼し、回収（3ヶ月後調査）

【回収状況】

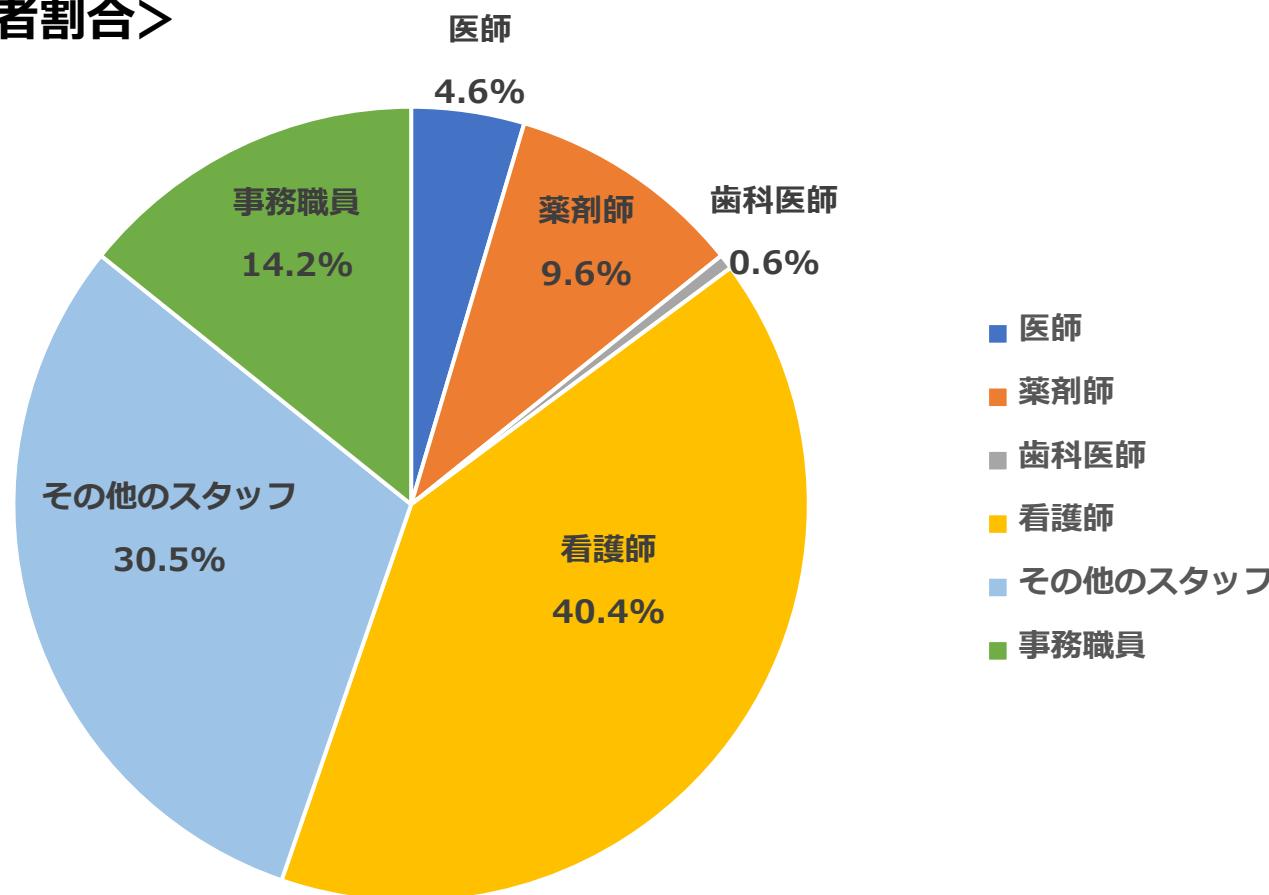
- ・研修を実施した11箇所の医療機関に協力を依頼し、653人の受講者から調査票を回収（当日調査）
- ・当日調査に協力いただいた医療機関のうち、9箇所から調査票を回収（3ヶ月後調査）

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果 (令和6年4月～令和7年3月)

①-1. あなたの職種をお答えください

医師	薬剤師	歯科医師	看護師	その他の医療スタッフ (臨床検査技師、ソーシャルワーカー、社会福祉士など)	事務職員	合計
30	63	4	264	199	93	653

＜受講者割合＞

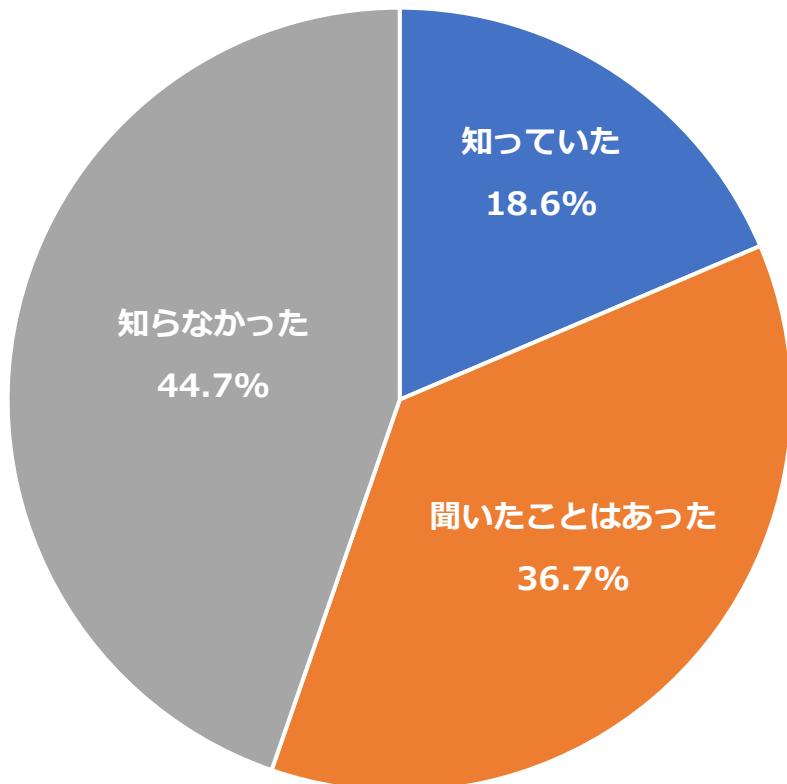


I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果（令和6年4月～令和7年3月）

①-2. 本日の講演を聴く前から救済制度をご存じでしたか（全体）

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった	合計	未回答
121	239	291	651	2

＜認知度割合＞



- 講演前における研修受講者の制度認知率は、
 - ・「知っていた」 + 「聞いたことはあった」 **55.3%**
内訳：「知っていた」 18.6%
「聞いたことはあった」 36.7%
 - ・「知らなかった」 **44.7%**

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果（令和6年4月～令和7年3月）

①-2. 本日の講演を聴く前から救済制度をご存じでしたか（職種別）

職種	知っていた	聞いたことはあった	知らなかつた	合計
医師	14	14	2	30
薬剤師	53	9	1	63
歯科医師	1	3	0	4
看護師	24	115	125	264
その他の医療スタッフ	12	60	125	197
事務職員	17	38	38	93

【講演前における研修受講者の制度認知率】

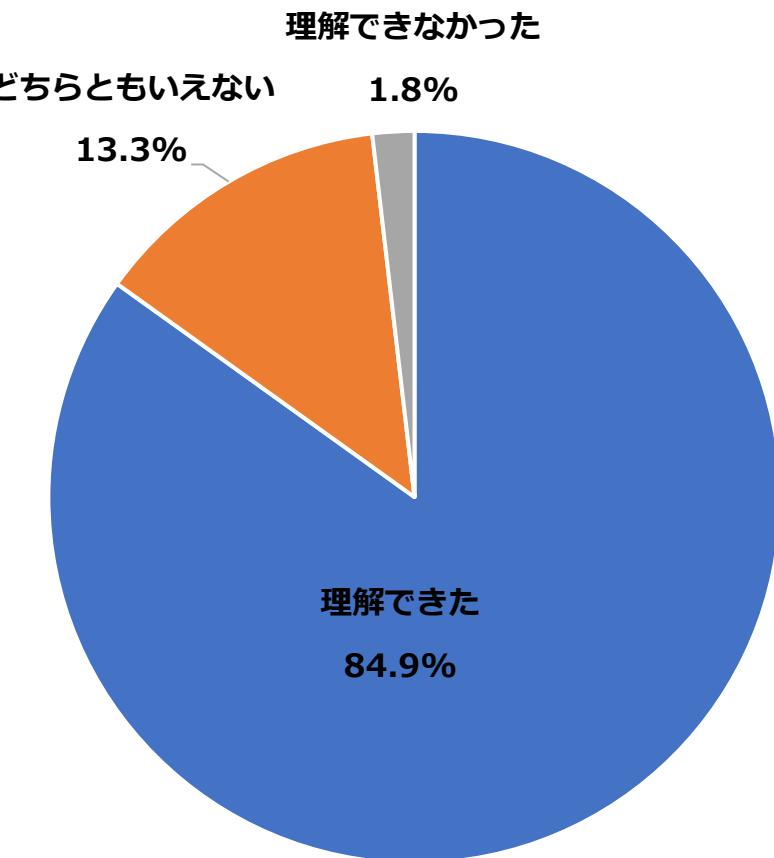
職種	認知率 (知っていた+聞いたことはあった)	内訳	
		知っていた	聞いたことはあった
医師	93.4%	46.7%	46.7%
薬剤師	98.4%	84.1%	14.3%
歯科医師	100%	25.0%	75.0%
看護師	52.7%	9.1%	43.6%
その他の医療スタッフ	36.6%	6.1%	30.5%
事務職員	59.2%	18.3%	40.9%

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果（令和6年4月～令和7年3月）

①-3. 本日の講演で救済制度の内容を理解していただけましたか（全体）

理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた	合計	未回答
551	86	12	649	4

＜理解度割合＞



【どちらともいえない・理解できなかつた理由】

（自由記載欄抜粋）

- 概要は理解することはできたが、全ては理解できなかつた。
- 聞きなじみのない制度だったため、十分な理解が少し難しかった。
- 時間がかかりそうなので、その時にならないと分からぬ。
- 患者さんと普段から接する機会が少ないから。

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果 (令和6年4月～令和7年3月)

①-3. 本日の講演で救済制度の内容を理解していただけましたか (職種別)

職種	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた	合計
医師	30	0	0	30
薬剤師	60	3	0	63
歯科医師	4	0	0	4
看護師	216	41	6	263
その他の医療スタッフ	160	32	4	196
事務職員	81	10	2	93

【講演後における研修受講者の理解度】

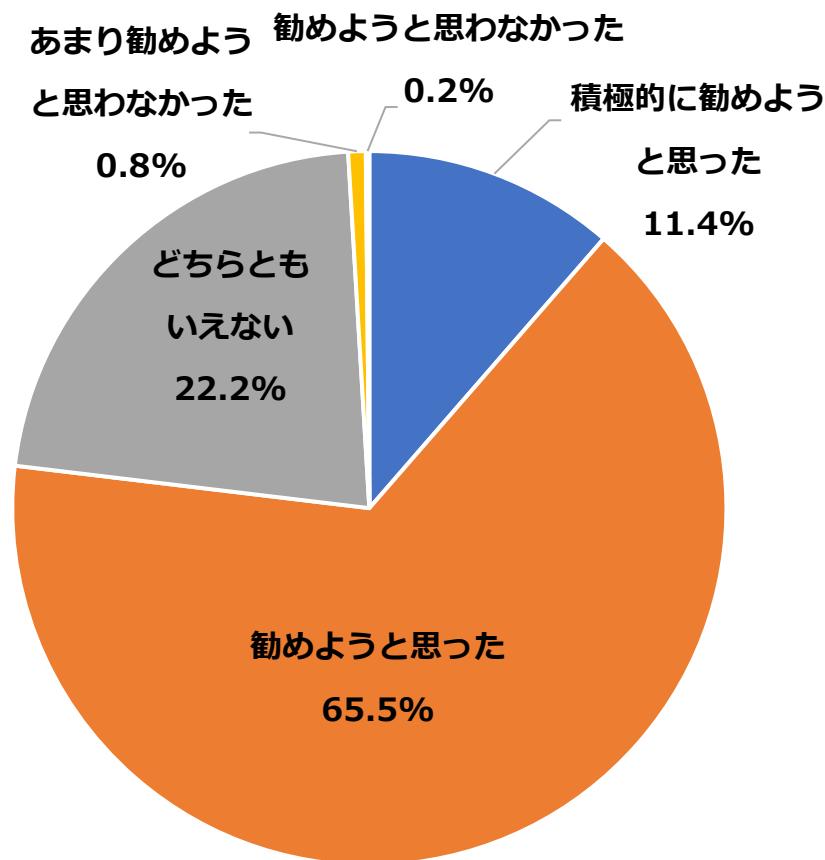
職種	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた
医師	100%	0%	0%
薬剤師	95.2%	4.8%	0%
歯科医師	100%	0%	0%
看護師	82.1%	15.6%	2.3%
その他の医療スタッフ	81.7%	16.3%	2.0%
事務職員	87.0%	10.8%	2.2%

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果 (令和6年4月～令和7年3月)

①-4. 講演を聴いて、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたか (全体)

積極的に勧めよう と思った	勧めようと思 った	どちらとも いえない	あまり勧めよう と思わなかつ た	勧めようと思 わなかつた	合計	未回答
72	414	140	5	1	632	21

＜勧奨率＞



「積極的に勧めようと思った」、
「勧めようと思った」といった
肯定的な意見が約77%を占めた。

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果 (令和6年4月～令和7年3月)

①-4. 講演を聴いて、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたか（職種別）

	積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
医師	11	18	0	0	0	29
薬剤師	11	45	6	1	0	63
歯科医師	1	3	0	0	0	4
看護師	18	173	63	2	1	257
他の医療スタッフ	21	121	45	2	0	189
事務職員	10	54	26	0	0	90

【講演後における研修受講者の制度利用の勧奨率】

	積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった
医師	37.9%	62.1%	0%	0%	0%
薬剤師	17.5%	71.4%	9.5%	1.6%	0%
歯科医師	25.0%	75.0%	0%	0%	0%
看護師	7.0%	67.3%	24.5%	0.8%	0.4%
他の医療スタッフ	11.1%	64.0%	23.8%	1.1%	0%
事務職員	11.1%	60.0%	28.9%	0%	0%

I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果（令和6年4月～令和7年3月）

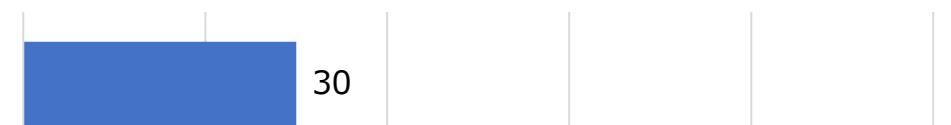
①-4. 講演を聴いて、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたか

「どちらともいえない」「あまり勧めようと思わなかった」「勧めようと思わなかった」を選んだ理由（n = 147）（複数回答可）

診断書など、必要書類の作成が複雑・面倒（そう）だから	不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）	自分自身が制度をよく理解していないから	給付の支給決定までに時間がかかるから（かかりそうだから）
30 (20.4%)	20 (13.6%)	82 (55.8%)	15 (10.2%)

（件）

診断書など、必要書類の作成が複雑・面倒（そう）だから



不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）



自分自身が制度をよく理解していないから



給付の支給決定までに時間がかかるから（かかりそうだから）



I 【出前講座・当日調査】アンケート集計結果（令和6年4月～令和7年3月）

①-5. 講演についてご意見、ご要望があれば、何でも結構ですので記入してください

【医薬品副作用被害救済制度についての意見】（抜粋）

【医師】

- ・患者さん自身で因果関係を整理することは難しく、それらの支援が医療者に求められていると感じた。

【薬剤師】

- ・正しく請求できるよう、患者さんへのサポートを行っていきたい。

【看護師】

- ・医薬品副作用に救済があることは知らなかった。この制度は一般的には知らないと思うので、広める必要があると思った。

【診療放射線技師】

- ・副作用発生リスクを最小限にするためには医薬品の適正使用が重要であることが分かった。

【理学療法士】

- ・薬剤について、あまり詳しく知らなかったので、とても勉強になった。周りにも伝えていこうと思った。

【事務職員】

- ・救済制度を知らなかったので、とても勉強になった。もう少し詳しく理解出来たら紹介していこうと思った。

出前講座調査にご協力いただいた医療機関に、研修実施3か月後にアンケート回答を依頼。
ご協力いただいた9箇所の医療機関の回答を集計。

②-1. 救済制度に関する研修を行なうきっかけは何でしたか

- 医療関係団体を通じた厚生労働省又はPMDAからの救済制度の広報についての協力依頼通知
- 学会におけるPMDAのブース
- PMDAメディナビからの配信メール

②-2. 研修実施後、研修内容や救済制度について、貴院内に周知する取り組みをされましたか

- 講演資料及びパンフレットの配布
- 院内説明会等の開催
- eラーニング講座の周知

②-3. 救済制度の相談や請求書類の作成支援に関する、研修の前後での院内体制に変化がありましたか
(複数回答可)

	制度相談 担当部署あり	書類作成支援 担当部署あり	制度相談 手順あり	書類作成支援 手順あり	体制・手順等なし
研修前	0	0	1	1	7
研修後 ※ 変更予定含む	2	1	5	4	2

②-4. より多くの方の制度利用に繋げるため、医療機関においてどのような工夫や仕組みがあればよいと思われますか (自由記述)

- ・患者さん向けの制度利用における説明資料を作成する。
- ・医師と医療相談室あるいは医事課（書類作成部門）が連携して書類作成支援を行う。
- ・医療法施行規則に規定する「従業者に対する医薬品の安全使用のため研修」において、本制度の説明資料を活用する。

II 令和6年度 eラーニング講座 アンケート調査

【調査目的】

医療現場における救済制度の認知率の把握、救済制度への意識調査、今後の講演活動の改善に向けた意見等の聴取、研修後の医療機関の意識や体制の変化などの把握を目的として実施

【調査対象】

医薬品副作用被害救済制度等に関するeラーニング講座（※）における研修受講者

（※） P M D AのH Pで公開している、制度創設の背景、制度の仕組み、請求から決定・給付までの流れ、必要書類、事例紹介などの情報を組み入れたeラーニング

【調査方法】

研修受講者に対してeラーニング研修完了直後に画面上のアンケートへの回答を依頼

【回収状況】

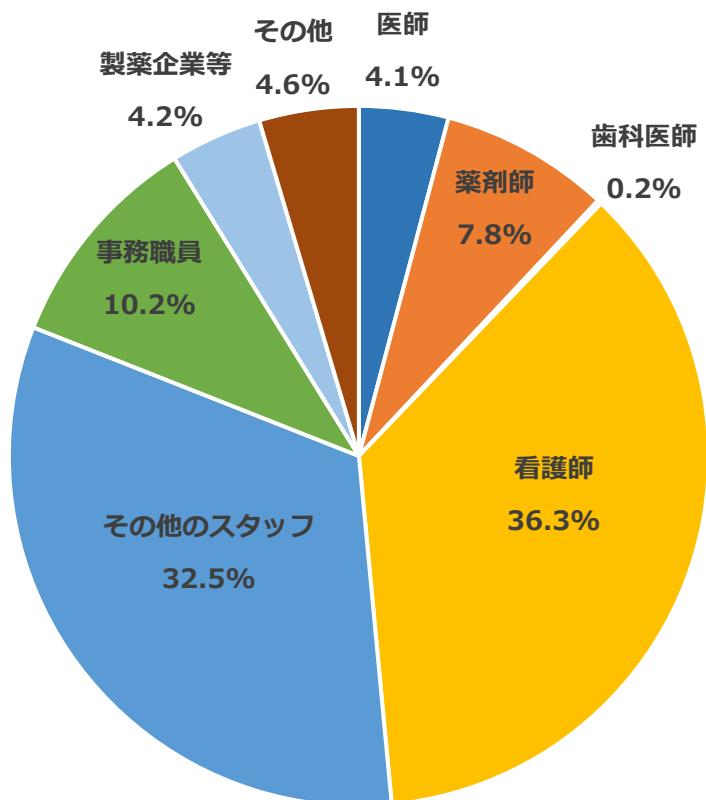
令和6年4月から翌年3月にかけてeラーニング研修受講者へ回答を依頼した結果、4,676人が回答

Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

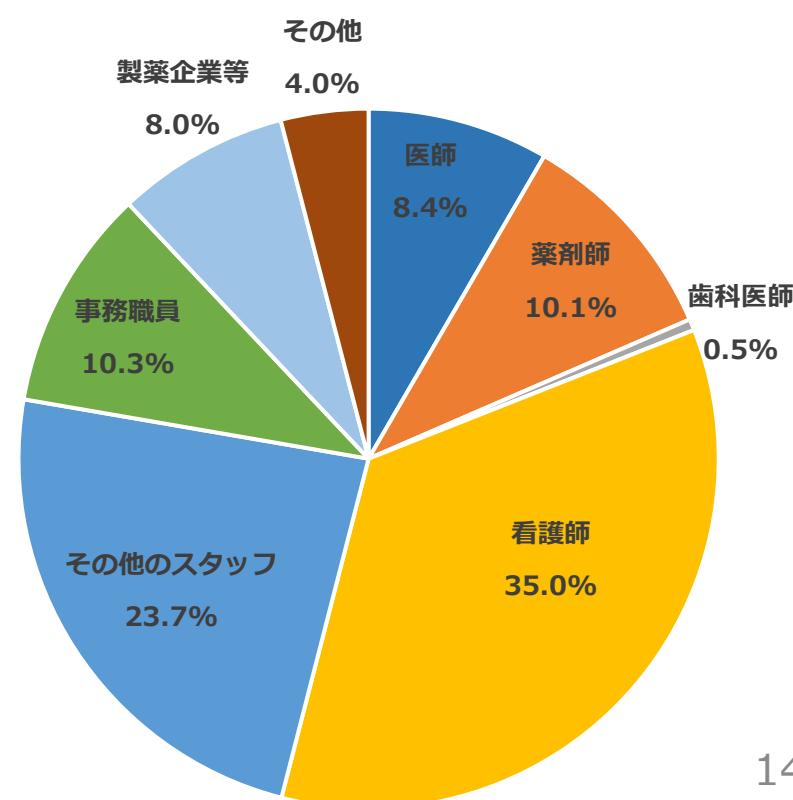
1. あなたの職種をお答えください

	医師	薬剤師	歯科医師	看護師	その他の医療スタッフ (臨床検査技師、ソーシャルワーカー、社会福祉士など)	事務職員	製薬企業等	その他 (学生、教員、社労士など)	合計
令和6年度	193	367	9	1,699	1,519	476	198	215	4,676
(令和5年度)	644	778	40	2,692	1,824	789	614	311	7,692

【令和6年度】



【令和5年度】

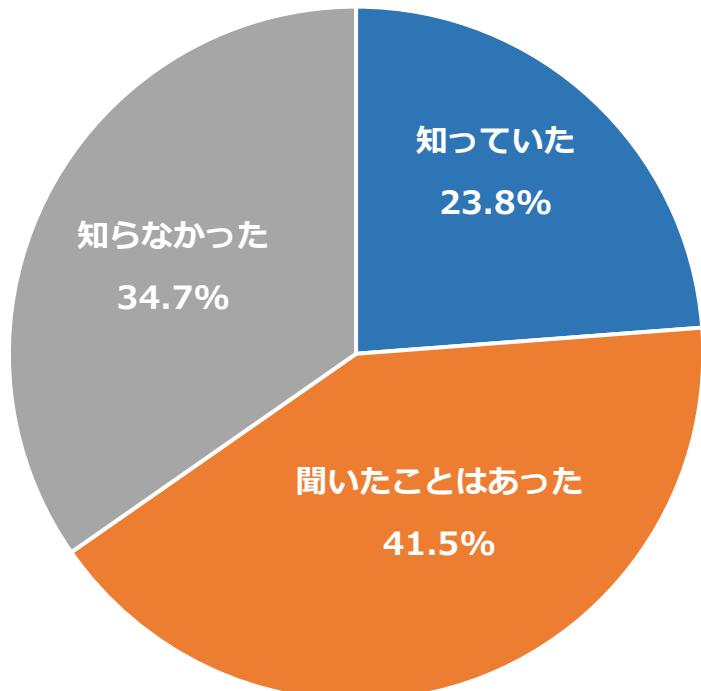


Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

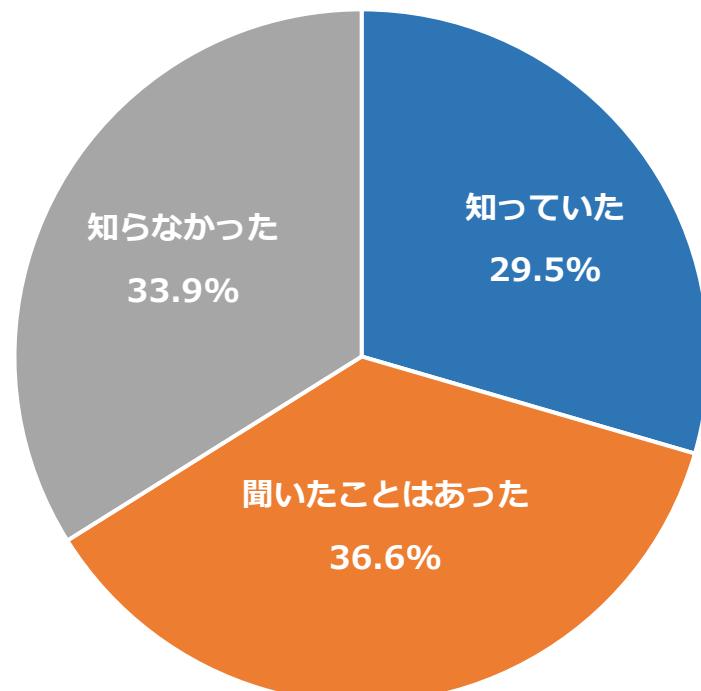
2. 今回の受講の前から救済制度をご存じでしたか（全体）

	知っていた	聞いたことはあった	知らなかった	合計
令和6年度	1,113	1,941	1,622	4,676
(令和5年度)	2,270	2,815	2,607	7,692

【令和6年度】



【令和5年度】



Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

2. 今回の受講の前から救済制度をご存じでしたか（職種別）

【令和6年度】

	知っていた	聞いたことは あつた	知らなかつた	合計
医師	97 (50.2%)	80 (41.5%)	16 (8.3%)	193
薬剤師	327 (89.1%)	37 (10.1%)	3 (0.8%)	367
歯科医師	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	9
看護師	232 (13.7%)	830 (48.8%)	637 (37.5%)	1,699
その他の 医療スタッフ	147 (9.7%)	659 (43.4%)	713 (46.9%)	1,519
事務職員	98 (20.6%)	215 (45.2%)	163 (34.2%)	476
製薬企業等	160 (80.8%)	28 (14.1%)	10 (5.1%)	198
その他	47 (21.9%)	89 (41.4%)	79 (36.7%)	215

【令和5年度】

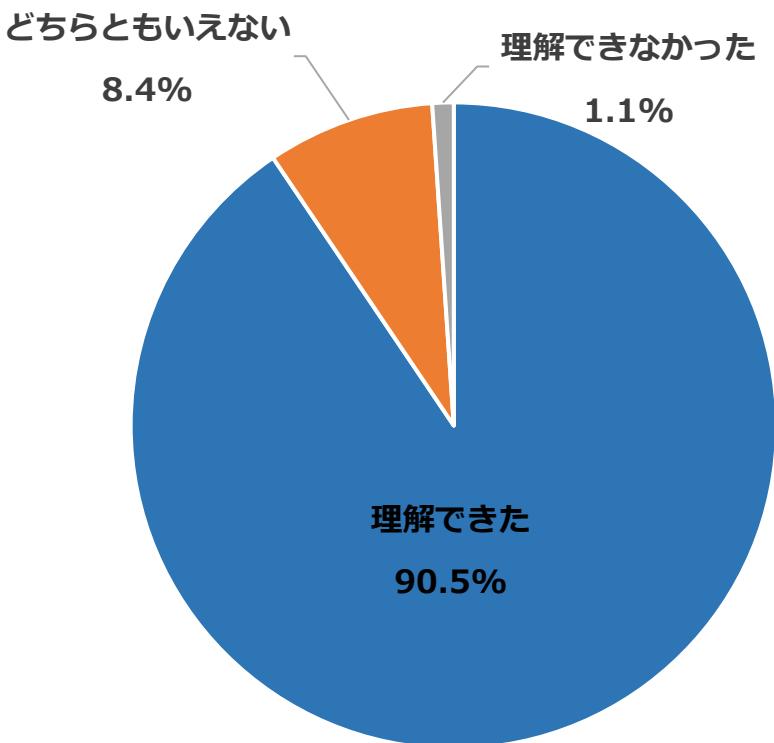
	知っていた	聞いたことは あつた	知らなかつた	合計
医師	344 (53.4%)	240 (37.3%)	60 (9.3%)	644
薬剤師	673 (86.5%)	91 (11.7%)	14 (1.8%)	778
歯科医師	12 (30.0%)	19 (47.5%)	9 (22.5%)	40
看護師	345 (12.8%)	1,215 (45.1%)	1,132 (42.1%)	2,692
その他の 医療スタッフ	194 (10.6%)	698 (38.3%)	932 (51.1%)	1,824
事務職員	155 (19.6%)	327 (41.4%)	307 (38.9%)	789
製薬企業等	459 (74.8%)	122 (19.9%)	33 (5.4%)	614
その他	88 (28.3%)	103 (33.1%)	120 (38.6%)	311

Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

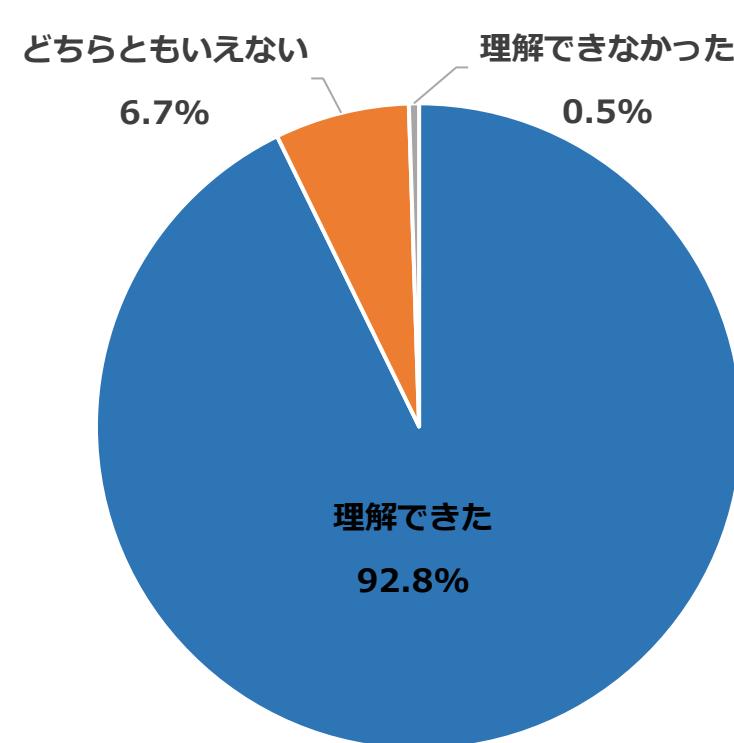
3. 今回の受講で救済制度の内容を理解していただけましたか（全体）

	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた	合計
令和6年度	4,234	392	50	4,676
(令和5年度)	7,135	518	39	7,692

【令和6年度】



【令和5年度】



Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

3. 今回の受講で救済制度の内容を理解していただけましたか（全体）

<どちらともいえない・理解できなかった理由>

(自由記載、主なもの)

- 内容が難しく、1回聞いただけでは他者へ説明ができないと思った。
ホームページを再度確認しようと思った。
- 分かりやすくまとまっていたが、1回の視聴では理解出来なかった。
- 聞き慣れない言葉や単語があったので、その言葉や単語から覚えない
話が頭に入りづらい。
- 丁寧な説明だったと思うが、内容がやや難しい。
- 実際その場面にならないと分からないと感じた。

II 【eラーニング調査】アンケート集計結果

3. 今回の受講で救済制度の内容を理解していただけましたか (職種別)

【令和6年度】

	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた	合計
医師	192 (99.5%)	1 (0.5%)	0	193
薬剤師	357 (97.3%)	10 (2.7%)	0	367
歯科医師	9 (100%)	0	0	9
看護師	1,522 (89.6%)	161 (9.5%)	16 (0.9%)	1,699
その他の医療スタッフ	1,317 (86.7%)	170 (11.2%)	32 (2.1%)	1,519
事務職員	440 (92.5%)	34 (7.1%)	2 (0.4%)	476
製薬企業等	193 (97.5%)	5 (2.5%)	0	198
その他	204 (94.9%)	11 (5.1%)	0	215

【令和5年度】

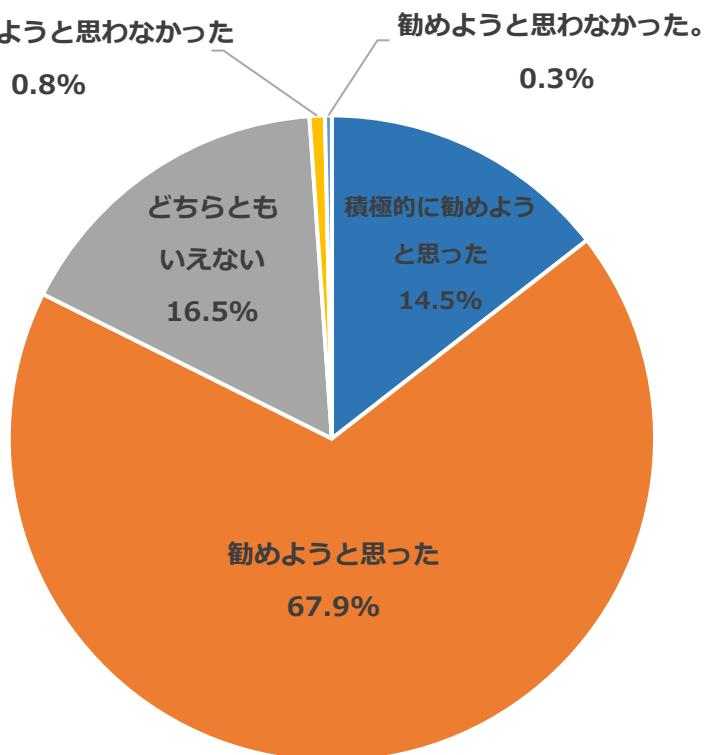
	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた	合計
医師	634 (98.4%)	10 (1.6%)	0	644
薬剤師	762 (97.9%)	16 (2.1%)	0	778
歯科医師	37 (92.5%)	3 (7.5%)	0	40
看護師	2,476 (92.0%)	207 (7.7%)	9 (0.3%)	2,692
その他の医療スタッフ	1,603 (87.9%)	199 (10.9%)	22 (1.2%)	1,824
事務職員	739 (93.7%)	48 (6.1%)	2 (0.3%)	789
製薬企業等	590 (96.1%)	23 (3.7%)	1 (0.2%)	614
その他	294 (94.5%)	12 (3.9%)	5 (1.6%)	311

Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

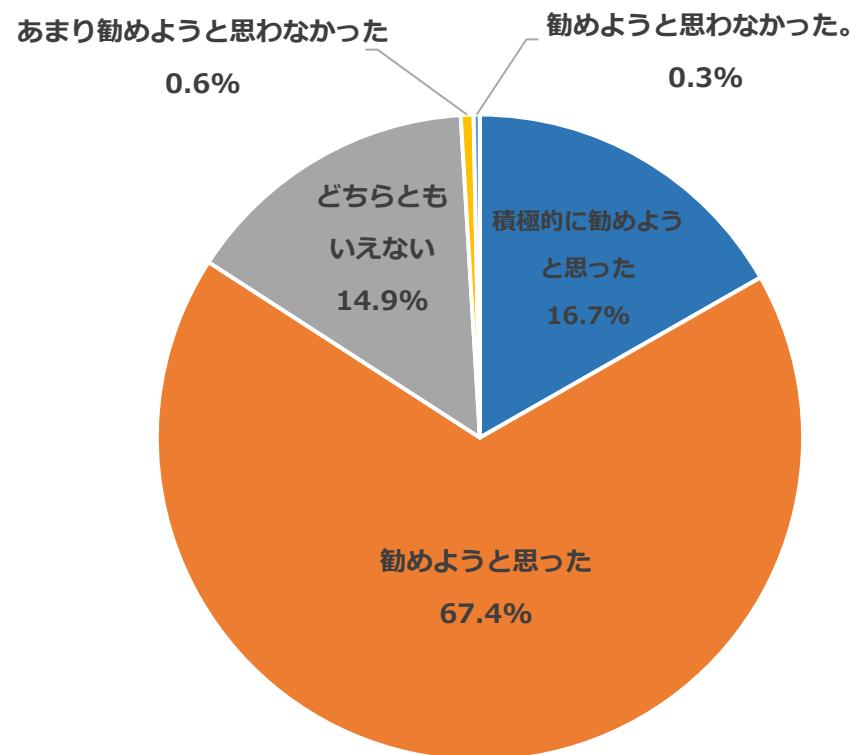
4. eラーニングを受講して、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたか（全体）

	積極的に勧めよう と思った	勧めようと 思った	どちらとも いえない	あまり勧めよう と思わなかつた	勧めようと 思わなかつた	合計	未回答
令和6年度	677	3,175	772	36	16	4,676	0
(令和5年度)	1,288	5,184	1,147	49	24	7,692	0

【令和6年度】



【令和5年度】



II 【eラーニング調査】アンケート集計結果

4. eラーニングを受講して、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたか（職種別）

【令和6年度】

	積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
医師	62 (32.1%)	124 (64.3%)	6 (3.1%)	1 (0.5%)	0	193
薬剤師	84 (22.9%)	240 (65.4%)	40 (10.9%)	2 (0.5%)	1 (0.3%)	367
歯科医師	3 (33.3%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	0	0	9
看護師	187 (11.0%)	1,171 (68.9%)	327 (19.3%)	9 (0.5%)	5 (0.3%)	1,699
その他の医療スタッフ	154 (10.1%)	1,045 (68.8%)	291 (19.2%)	23 (1.5%)	6 (0.4%)	1,519
事務職員	39 (8.2%)	352 (74.0%)	81 (17.0%)	1 (0.2%)	3 (0.6%)	476
製薬企業等	66 (33.3%)	119 (60.1%)	13 (6.6%)	0	0	198
その他	82 (38.1%)	119 (55.4%)	13 (6.0%)	0	1 (0.5%)	215

【令和5年度】

	積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
医師	214 (33.2%)	395 (61.3%)	34 (5.3%)	0	1 (0.2%)	644
薬剤師	194 (24.9%)	519 (66.7%)	64 (8.2%)	0	1 (0.1%)	778
歯科医師	8 (20.0%)	27 (67.5%)	5 (12.5%)	0	0	40
看護師	317 (11.8%)	1,915 (71.1%)	432 (16.0%)	21 (0.8%)	7 (0.3%)	2,692
その他の医療スタッフ	217 (11.9%)	1,190 (65.2%)	386 (21.2%)	21 (1.2%)	10 (0.5%)	1,824
事務職員	83 (10.5%)	571 (72.4%)	127 (16.1%)	4 (0.5%)	4 (0.5%)	789
製薬企業等	156 (25.4%)	388 (63.2%)	67 (10.9%)	2 (0.3%)	1 (0.2%)	614
その他	99 (31.8%)	179 (57.6%)	32 (10.3%)	1 (0.3%)	0	311

Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

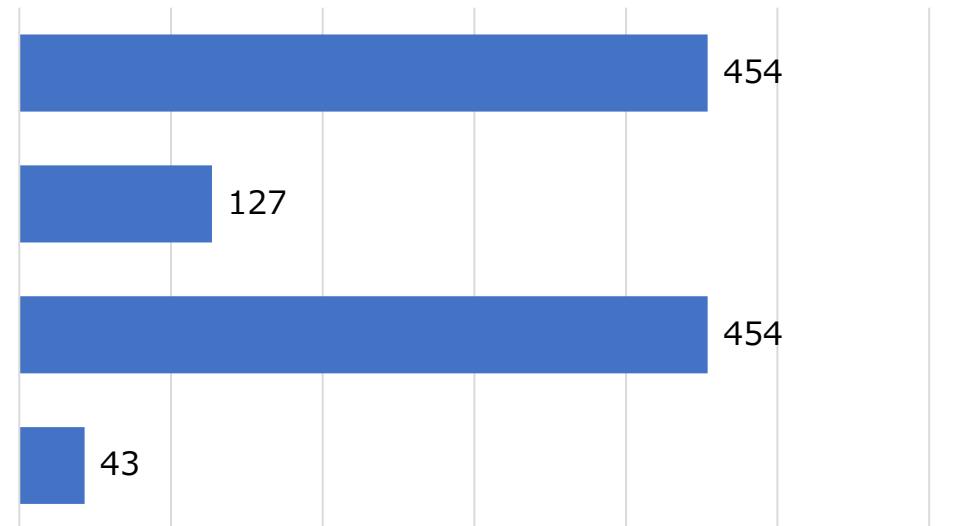
4. eラーニングを受講して、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたか（全体）

「どちらともいえない」「あまり勧めようと思わなかった」「勧めようと思わなかった」を選んだ理由（n = 1,078）（複数回答可）

	診断書など、必要書類の作成が複雑・面倒（そう）だから	不支給の場合、責任を問われるから（問われそうだから）	自分自身が制度をよく理解していないから	給付の支給決定までに時間がかかるから（かかりそうだから）
令和6年度	454 (42.1%)	127 (11.8%)	454 (42.1%)	43(4.0%)
（令和5年度）	257 (23.1%)	211 (19.0%)	574 (51.7%)	69 (6.2%)

（件）

診断書など、必要書類の作成が複雑・面倒（そう）だから



22

Ⅱ 【eラーニング調査】アンケート集計結果

5. ご意見、ご要望があれば、何でも結構ですので記入してください

医薬品副作用被害救済制度についての意見（抜粋）

【医師】

- ・添付文書はよく読まなければならないと感じた。

【薬剤師】

- ・救済制度の対象にならなかった事例が、適正使用ではなかったと判断されており、薬剤師として添付文書通りにお薬を使用することの大切さを感じている。

【看護師】

- ・制度を知ることができ良かった。医師、薬剤師とともに患者さんへお手伝いができるかもしれない。

【看護助手】

- ・手続きに時間がかかり大変そうだが、相談できる人がいると、患者さんやご家族は心強いと思う。

【作業療法士】

- ・薬剤に直接かかわる職業ではない職種でも制度について知っている事は、患者さんに安心安全な医療を提供する上で重要だと感じた。

【製薬企業等】

- ・安全管理統括部門における教育訓練の一環として活用している。本制度は副作用情報収集業務においてMRが触れる機会があり、統括部門として知っておくべき内容である。

【学生】

- ・医療従事者を目指す上で、患者さんが薬に対して感じる不安や心配を減らせるよう、より深く副作用や制度について学んでいこうと思った。

【参考】「出前講座調査」と「eラーニング講座調査」の集計結果の比較

【講演前における研修受講者の制度認知率】

①出前講座調査

職種	認知率 (知っていた+聞いたことはあった)
全体	55.3%
医師	93.4%
薬剤師	98.4%
歯科医師	100%
看護師	52.7%
その他の医療スタッフ (臨床検査技師、ソーシャルワーカー、社会福祉士など)	36.6%
事務職員	59.2%

※有効回答数：651



②eラーニング講座調査

職種	認知率 (知っていた+聞いたことはあった)
全体	65.3%
医師	91.7%
薬剤師	99.2%
歯科医師	88.9%
看護師	62.5%
その他の医療スタッフ (臨床検査技師、ソーシャルワーカー、社会福祉士など)	53.1%
事務職員	65.8%
製薬企業等	94.9%
その他 (学生、教員、社労士など)	63.3%

※有効回答数：4,676



【講演後における研修受講者の理解度】

職種	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた
全体	84.9%	13.3%	1.8%
医師	100%	0%	0%
薬剤師	95.2%	4.8%	0%
歯科医師	100%	0%	0%
看護師	82.1%	15.6%	2.3%
その他の医療スタッフ	81.7%	16.3%	2.0%
事務職員	87.0%	10.8%	2.2%

※有効回答数：649

職種	理解できた	どちらともいえない	理解できなかつた
全体	90.5%	8.4%	1.1%
医師	99.5%	0.5%	0%
薬剤師	97.3%	2.7%	0%
歯科医師	100%	0%	0%
看護師	89.6%	9.5%	0.9%
その他の医療スタッフ	86.7%	11.2%	2.1%
事務職員	92.5%	7.1%	0.4%
製薬企業等	97.5%	2.5%	0%
その他	94.9%	5.1%	0%

※有効回答数：4,676